

「団結・結束 スポーツいわて」 宣言

新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの大会やイベント、地域における活動が中止・延期され、規模が縮小されるなど、スポーツをめぐる厳しい状況が続いている。こうした中、各競技大会の中止に向き合い前進しようとしている青少年の皆さんに心からエールを送ります。

県民の皆さんには、これまでの徹底した感染症対策の実施や慎重かつ冷静な行動を心掛けて頂いたことについて改めて感謝を申し上げるとともに、スポーツの関係者に対し、温かいまなざしや熱い励ましを送ってくださっていることに御礼申し上げます。

そして、今もなお、医療・保健・看護に従事し、感染症対策の最前線で活躍され、私たちの生活を支えて頂いている皆さんに深く敬意を表します。

スポーツは、暮らしの中の楽しみとして、生涯を通じた心身の成長の糧として、人と人とのつなぎ、地域と地域をつなぐものとして、私たちの幸福の追求と健康で文化的な生活に欠かすことのできないものです。

私たちは、これまで多くの困難に直面してきました。9年3か月前の東日本大震災津波では、大勢の方が犠牲となり、多くの家や街並みが失われ、スポーツをすることはもちろん、日常生活が困難な日々が続きました。そのような中、私たちは各競技団体や地域の皆さんと団結・結束して「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」・「ラグビーワールドカップ2019™」を開催し、被災地の復興とこれまでの数多くの支援に対して感謝を伝えることができました。

今、再びスポーツを通して団結・結束する時です。新型コロナウイルス感染症を克服すべく、社会全体が前進しようとするにあたり、スポーツは人々の心を癒し、人々に勇気を与える大きな力を持っています。「新しい生活様式」のもと、新しいスポーツの在り方を新たな発想で創造していきましょう。

スポーツに集う県民みんなで力を合わせ、自信と誇りをもって新型コロナウイルス感染症に打ち勝ち、スポーツによって県民誰もが健やかで輝く岩手を創り上げていくことができるよう、ここに「団結・結束 スポーツいわて」を宣言します。

令和2年6月18日

公益財団法人岩手県体育協会

会長 達増拓也

